

製品名: BMP-10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07588**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	BMP10
別名	bone morphogenetic protein 10
遺伝子 ID	27302.0
SwissProt ID	O95393
免疫原	BMP-10 由来の合成ペプチド (アミノ酸範囲: 361-410)

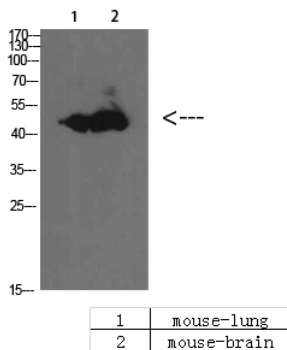
背景

この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーのリガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化につながり

ます。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解を受けて成熟タンパク質を生成し、アクチビン受容体様キナーゼ 1 (ALK1) に結合して、心筋細胞の増殖、心臓の大きさの調節、動脈管の閉鎖、血管新生、心室肉芽形成など、心血管の発達に重要な役割を果たします。[RefSeq 提供、2016 年 8 月]機能: 負の細胞周期制御因子 CDKN1C/p57KIP の早期活性化を防ぎ、MEF2C や NKX2-5 などの心臓因子の必要な発現レベルを維持することにより、胎児心筋細胞の増殖活性を維持するために必要です。ACVRL1/ALK1、BMPR1A/ALK3、BMPR1B/ALK6 のリガンドとして作用し、SMAD1、SMAD5、SMAD8 転写因子の活性化を引き起こす。内皮細胞の移動と増殖を阻害する。、オンライン情報: 骨形成タンパク質 10 のエントリー、類似性: TGF- β ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。、

研究分野

画像データ



1:1000 に希釈した BMP-10 ポリクローナル抗体を用いたマウス脳およびマウス肺細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。